



サーバーの保守

- [電源装置の交換 \(1 ページ\)](#)

電源装置の交換

サーバーには、1 台または2 台の Titanium 80PLUS 定格電源を搭載できます。デフォルトでは、2 つの電源装置を設置している場合、それらの電源装置は 1+1 冗長です。

- 電源装置の詳細については、[電力仕様](#)も参照してください。

ここでは、AC および DC 電源装置の交換手順について説明します。

- [AC 電源装置の交換 \(1 ページ\)](#)
- [DC 電源装置の交換 \(2 ページ\)](#)
- [DC 電源装置の取り付け \(初回の取り付け\) \(4 ページ\)](#)
- [DC 電源装置の接地 \(6 ページ\)](#)

AC 電源装置の交換



- (注) サーバーに電源装置の冗長性を指定している（電源装置が2 つある）場合は、1+1 冗長であるため、電源装置の交換時にサーバーの電源をオフにする必要はありません。



- (注) サーバ内で異なるタイプ/ワット数の電源装置を組み合わせで使用しないでください。両方の電源装置が同じである必要があります。

手順

ステップ 1 交換する電源装置を取り外すか、空のベイからブランク パネルを取り外します。

a) 次のいずれかの操作を実行します。

- サーバに電源装置が 1 つしかない場合は、サーバをシャットダウンし、電源を切断します。
- サーバーに電源装置が 2 つある場合は、サーバーをシャットダウンする必要はありません。

b) 交換する電源装置から、電源コードを取り外します。

c) 電源装置のハンドルをつかみながら、リリース レバーをハンドルに向けてひねります。

d) 電源装置をベイから引き出します。

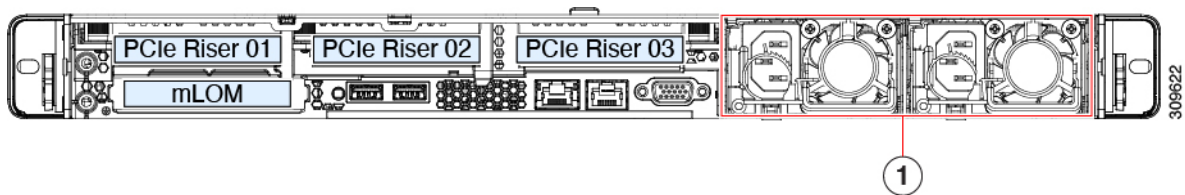
ステップ 2 次のようにして、新しい電源装置を取り付けます。

a) 電源装置のハンドルをつかみ、空のベイに新しい電源装置を挿入します。

b) リリース レバーがロックされるまで、電源装置をベイに押し込みます。

c) 電源コードを新しい電源装置に接続します。

d) サーバーをシャットダウンした場合にのみ、電源ボタンを押して、サーバーを主電源モードで起動します。



1	電源の場所。
---	--------

DC 電源装置の交換



(注) この手順は、すでに DC 電源装置が取り付けられているサーバで DC 電源装置を交換する場合に実行します。サーバに初めて DC 電源装置を取り付ける場合は、[DC 電源装置の取り付け（初回の取り付け）](#)（4 ページ）を参照してください。



警告 容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。

ステートメント 1022



警告

この製品は、設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。

ステートメント 1045



警告

機器の取り付けは各地域および各国の電気規格に適合する必要があります。

ステートメント 1074



(注)

電源装置の冗長性を指定している（電源装置が 2 つある）サーバで DC 電源を交換する場合は、1+1 冗長であるため、電源装置の交換時にサーバの電源をオフにする必要はありません。



(注)

サーバ内で異なるタイプ/ワット数の電源装置を組み合わせ使用しないでください。両方の電源装置が同じである必要があります。

手順

ステップ 1 交換する DC 電源装置を取り外すか、空のベイからブランク パネルを取り外します。

a) 次のいずれかの操作を実行します。

- DC 電源装置が 1 つしかないサーバで電源装置を交換する場合は、次の説明に従ってサーバをシャットダウンし、電源を切断します。
- DC 電源装置が 2 つあるサーバで電源装置を交換する場合は、サーバをシャットダウンする必要はありません。

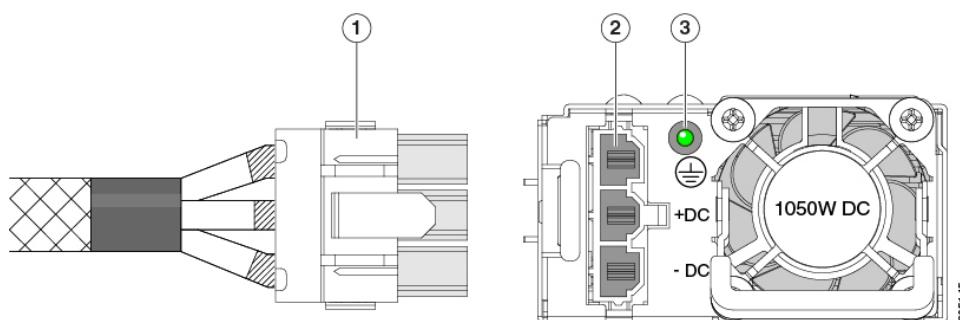
- b) 交換する電源装置から、電源コードを取り外します。コネクタ固定クリップを少し持ち上げて、電源装置のソケットからコネクタを引き抜きます。
- c) 電源装置のハンドルをつかみながら、リリース レバーをハンドルに向けてひねります。
- d) 電源装置をベイから引き出します。

ステップ 2 新しい DC 電源装置を取り付けます。

- a) 電源装置のハンドルをつかみ、空のベイに新しい電源装置を挿入します。
- b) リリース レバーがロックされるまで、電源装置をベイに押し込みます。
- c) 電源コードを新しい電源装置に接続します。固定クリップがカチッと所定の位置に収まるまで、コネクタをソケットに押し込みます。

d) サーバをシャットダウンした場合にのみ、電源ボタンを押して、サーバを主電源モードで起動します。

図 1: DC 電源装置の交換



1	鍵状ケーブル コネクタ (CAB-48DC-40A-8AWG)	3	PSU ステータス LED
2	鍵状 DC 入力ソケット	-	

DC 電源装置の取り付け（初回の取り付け）



(注) この手順は、サーバに初めて DC 電源装置を取り付ける場合に使用します。すでに DC 電源装置が取り付けられているサーバで DC 電源装置を交換する場合は、[DC 電源装置の交換（2 ページ）](#) を参照してください。



警告 容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。
ステートメント 1022



警告 この製品は、設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。
ステートメント 1045



警告 機器の取り付けは各地域および各国の電気規格に適合する必要があります。
ステートメント 1074



- (注) サーバ内で異なるタイプ/ワット数の電源装置を組み合わせず使用しないでください。両方の電源装置が同じである必要があります。



- 注意 この配線手順の最初のステップの指示に従い、感電の危険を避けるために、施設の回路ブレーカーの DC 電源装置をオフにしてください。

手順

ステップ 1 感電の危険を避けるために、施設の回路ブレーカーの DC 電源装置をオフにします。

(注)

必要な DC 入力ケーブルは、Cisco 製品 CAB-48DC-40A-8AWG です。この 3 m ケーブルは、一方の端は電源の DC 入力ソケットに鍵のように合わせて差し込む 3 ピン コネクタです。ケーブルのもう一方の端にはコネクタがないので、施設の DC 電源に配線できます。

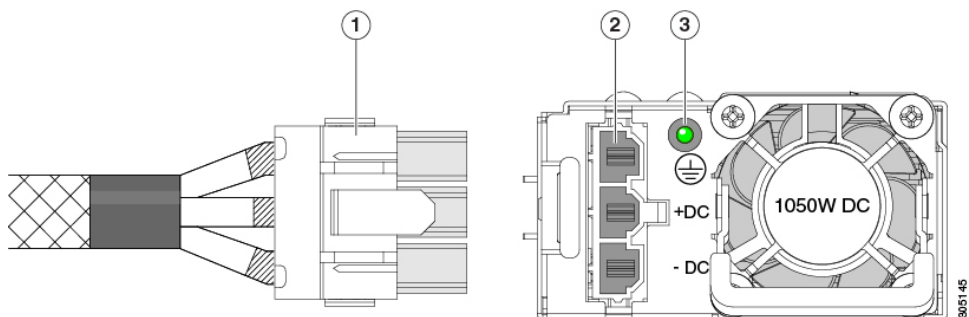
ステップ 2 ケーブルの終端処理されていない端を、施設の DC 電源入力ソースに配線します。

ステップ 3 ケーブルの終端処理されている端を、電源のソケットに接続します。コネクタは、配線の極性とアースが正しくなるように、鍵状構造になっています。

ステップ 4 施設の回路ブレーカーで DC 電源を復旧させます。

ステップ 5 電源ボタンを押し、サーバーをブートして主電源モードに戻します。

図 2: DC 電源装置の取り付け



1	鍵状ケーブル コネクタ (CAB-48DC-40A-8AWG)	3	PSU ステータス LED
2	鍵状 DC 入力ソケット	-	

ステップ 6 シャーシでの追加の接地については、[DC 電源装置の接地（6 ページ）](#) を参照してください。

DC 電源装置の接地

AC 電源装置は内部アースがあるため、サポート対象の AC 電源コードを使用する場合は、それ以上接地する必要はありません。

DC 電源装置を使用する場合は、サーバシャーシからラックのアースグラウンドへの追加の接地を行うことができます。二重孔アースラグおよびアース線で使用する2つのネジ穴は、シャーシの背面パネルにあります。



(注) シャーシの接地点は 10-32 ネジに合う大きさです。独自のネジ、アースラグとアース線を提供する必要があります。アースラグは、10-32 ネジに合ったデュアルホールラグである必要があります。ユーザーが提供するアースケーブルは 10 AWG (5 mm)、最低 60°C のワイヤか、現地の規定で許可されるものでなければなりません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。